

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について①（中央部）

千代田区・中央区・港区・文京区・台東区

1 選定病院

東京慈恵会医科大学附属病院

所在地：東京都港区西新橋3-19-18

2 事業計画と選定委員会での評価結果

小項目		事業計画					
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・慈恵リハビリテーション研究会(JIRIKEN 年11回予定)を定期的に開催し、症例発表や最新の研究結果発表をすることで、知識の向上を図る。(14回/年) ・区中央部地域リハビリテーション合同研修会の開催(開催日時未定、計3回予定) (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・電話相談窓口による情報提供を行っていく。(月・水・金曜日の17時から18時まで)(143~144回/年)					
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・港区地域リハビリテーション推進会議を開催(開催日時未定、計2回予定) (2) ケアマネジャーへの研修 ・医療と介護の合同研修会の開催(開催日時未定、計1回予定) ・介護予防講座の開催(開催日時未定、計3回予定) (3) ケアプラン相談支援 ・電話対応(月・水・金曜日、午後5時から6時まで)					
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会(連絡会) ・港区地域リハビリテーション推進会議(2回/年)					
選択する役割	(1) 区市町村による在宅リハ支援事業等への支援 ・担当区と協力してセミナーや講演を行なっている。特に地域への介護予防講座では、事前に利用者からリハビリテーションに関わる演題を募集し、希望内容に沿った実践講座を行なっている。この講座にはケアマネジャーなども参加している。 (2) 脳卒中医療連携推進事業への支援 ・一般社団法人脳卒中地域医療連携パス協会の世話人として、都標準パスの普及などに貢献している。SCU(Stroke Care Unit)の設置に伴い、より積極的な連携パスの運用が実現している。 (3) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・当院の外来において高次脳機能障害患者を受け入れており、画像診断、認知機能検査、日常生活指導を中心とした診療を行っている。						
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	地域リハビリテーション関係者との連携強化	事業実施内容等(選択する役割)	これまでの取組状況(実績等)	小項目合計	総合評価
点数	4.20	3.80	3.67	3.40	3.80	18.80	4.00

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 1か所	無 4か所	有 4か所	無 5か所
現在の連携状況	【連携内容】 ○中央区 ・地域包括支援センター3箇所にて年1回ずつ介護予防講座の講師を派遣していただいている。		【連携内容】 ○港区医師会 ・地域リハビリテーション推進会議を開催している ○下谷医師会 ・「たいとう地区包括ケア推進協議会」に、医師会や地区リハビリテーション支援センター等が参画し、講演会やフォーラム、研修会などを企画・実施することにより、医療・介護の関係者が相互に理解を深めた多職種連携の推進をはかる。 ○浅草医師会 ・医師会から世話人を派遣し、年4回程度の世話人会を開催。年間事業計画・研修会・講演会の立案、開催後の反省会等を行っている。 ・台東区では「たいとう地域包括ケア推進協議会」を組織し、地域包括ケアの推進に努めている。台東区地域リハビリテーション支援センターも、構成団体として参加して頂き、活動に加わってもらっている。	
指定に対する意見	○中央区 ・介護予防講座に参加する区民の多くは高齢者であり、講義資料(パワーポイント)が最前列でも見えない方もいるため、読みやすい配慮をしていただきたい。 ・介護予防講座の講義資料が配布不可とのことで、参加者から資料をいただけないことに対する不満が出ているため、講義資料の配布をお願いしたい。		○千代田区医師会 ・慈恵医大との直接的な連携は無いが、連携を取っている九段坂病院ならびに東京通信病院が慈恵医大関連であるので、慈恵医大が支援センターに指定されたことを歓迎したい。 今後は慈恵医大の病診連携会等を通じて、弊会会員に周知出来ればと考えている。 ○浅草区医師会 ・当地域の支援センターの指定は、適切と思っている。	
事業計画に対する意見			○浅草区医師会 ・今後も多職種連携に加わって頂き、高齢者のフレイル対策の重要性が言われる昨今、特に地域におけるフレイル対策推進において、引き続き積極的に活動を行って頂きたいと思います。	

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について①（区西南部）

目黒区・世田谷区・渋谷区

1 選定病院

医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院

所在地：東京都渋谷区本町三丁目53番3号

2 事業計画と選定委員会での評価結果

小項目		事業計画					
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・事例検討会(もしくはグループワーク)の開催(2-(2)と重複) 各区ごとに地域の専門職混合でのオンラインでの事例検討会(もしくはグループワーク)を開催。事例については、各区の幹事会にて地域課題に沿った事例・テーマを選定する。【渋谷区】【目黒区】【世田谷区】(2~3回/年) (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・オンライン形式の講演会の実施する。【3区合同】 ・研究大会を開催。【渋谷区】 ・昨年度電子化したリハビリテーション医療機関マップの普及に取り組む。 ・リハビリテーション医療機関マップの情報をアップデートしていく。(2回/年)					
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・事例検討会(もしくはグループワーク)の開催(1-(2)と重複) 前年度と同様、各区ごとに地域の専門職混合でのオンラインでの事例検討会(もしくはグループワーク)を開催。事例については、各区の幹事会にて地域課題に沿った事例・テーマを選定する。【渋谷区】【目黒区】【世田谷区】(3回/年) (2) ケアマネジャーへの研修 ・リハビリテーションに関連する介護保険サービスについての研修会を開催する。【渋谷区目黒区合同】 ・嚥下障害やその他のテーマについてリハビリテーションの基本的な知識を学ぶ研修会を開催する【渋谷区目黒区合同】【世田谷区】 ・移乗動作の介助方法を学ぶための、体験型の研修を開催する。【世田谷区】 ・各時期のリハの役割とその使い方というテーマでシンポジウムを開催する。【世田谷区】(5回/年) (3) ケアプラン相談支援 ・日常的な相談について電話で受け付けている。(随時受け付け 月~土 9:00~17:00)					
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会(連絡会) ・区西南部地域リハ支援センター幹事会(目黒区・世田谷区・渋谷区)(6回/年)					
選択する役割	(1) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・区西南部高次脳機能障害者支援普及事業圏域会議への出席 ・渋谷区高次脳機能障害者支援連絡協議会への委員派遣 ・区西南部リハビリテーション連携マップ調査時に、高次脳機能障害対応の可否に対する調査を実施						
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	地域リハビリテーション関係者との連携強化	事業実施内容等(選択する役割)	これまでの取組状況(実績等)	小項目合計	総合評価
点数	4.17	4.17	4.17	3.33	3.67	19.50	4.00

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 3か所	無 0か所	有 3か所	無 1か所
現在の連携状況	【連携内容】 ○目黒区 ・保健所保健センター事業において、講師派遣等のご協力をいただいておりますが、事業の見直し、及び、コロナ禍における事業の縮小や実施方法の変更に伴い、現在は直接的な支援は終了となっております。一方で、地域リハビリテーション支援センター主催の研修会・講演会等の目黒区内介護・医療関係者への周知等において、連携を図っています。 ○世田谷区 ・「地域リハビリテーション支援事業 実施計画書」において連携するとされている、同一法人が経営する成城リハケア病院と連携している。成城リハケア病院は、世田谷区内のリハビリテーション専門3職種が所属する任意団体の事務局を担っており、具体的には地域包括支援センターが開催する地域ケア会議に、任意団体に所属するリハビリテーション専門職が参加し個別事例について助言を行うよう、専門職の派遣調整を成城リハケア病院に行っていたり、連携を構築(業務委託)している。 ○渋谷区 ・地域ケア会議へのリハビリ職の参加に関して、初台リハビリテーション病院と連携している。 ・令和4年度から新規に実施した認知症予防プログラム事業委託に関して、プログラムの内容決定段階から参加していただき、2回に分けて実施した。大変、好評を得て次年度以降も実施継続する。 ・年2回の幹事会での意見交換・情報共有 など		【連携内容】 ○世田谷区医師会 ・区西南部地域リハビリテーションにおける支援事業の運営、講演会等への協力 ○玉川医師会 ・連携病院である成城リハケア病院を通じて適宜情報交換等を行っている。(世田谷区幹事会) ○渋谷医師会 ・初台リハビリテーション病院の院長が在宅医療連携と地域包括ケア委員会の委員として協力している。	
指定に対する意見	○目黒区 ・当該指定病院となって3期目であり、引き続き同医療機関が指定の予定となっております。この間、研修や事例検討会のオンライン化、ホームページの開設、医療機関マップの電子化、参加や利用しやすい形式への変化等、同じ医療機関が継続して指定されていることに伴い地域の力の底上げにつながっていると認識しています。また、地域リハビリテーション支援センターの所在している区とそうでない区との地域差が生じないように配慮をお願いいたします。		○世田谷区医師会 ・世田谷区医師会・関係医会・医師会員・保健福祉等とこれまで以上に顔の見える連携の構築の継続をお願いいたします。	
事業計画に対する意見	○目黒区 ・区西南部の中でも地域差(各区の違い)が存在するので、区ごとに幹事会を開催し、顔の見える関係構築など、一定の成果があると思われま。指定病院の所在区ではない当区の場合、連携施設である病院が中心となって、幹事会及び研修会の企画実施等を行っていますが、ここ数年のコロナ対応も重なり、特に連携施設に負担が集中しているのが現状です。地域リハビリテーション支援センターによる、より一層のご支援、ご協力をお願いいたします。また、区を超えた関係づくりや、情報交換の場として、区西南部全体の幹事会などの開催もご検討いただきたく、お願いいたします。		○世田谷区医師会 ・地域完結型医療・地域包括ケアの構築のためのリハビリテーション支援体制の作りに積極的に取り組んでいただきたいと思います。急性期リハビリテーションの取り組みだけでなく、在宅医療及び在宅リハビリテーションが長期安定的に行え、かつ円滑に進められるための取り組みに協力をお願いします。	

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について①（区東北部）

荒川区・足立区・葛飾区

1 選定病院

社会医療法人社団 医善会 いずみ記念病院

所在地:東京都足立区本木1-3-7

2 事業計画と選定委員会での評価結果

小項目		事業計画					
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・相談やアンケートを通じて関心の高いテーマを設定するなど、地域のニーズに沿った研修会を企画する。(9回/年) (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・かかりつけ医のリハビリテーションに関する疑問や、相談の多い内容をテーマに研修会を企画する。研修会での意見交換を通して関係職種間のつながりを強化できるよう努める。(2~3回/年)					
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・これまでのWeb研修会においては、チャット機能を用いたことで活発な意見交換が行われた。これらの経験をふまえ、多職種からの発言が得られるよう工夫していく。(4回/年) (2) ケアマネジャーへの研修 ・地域における自立生活と社会参加の実現に向け、取り組むべき課題を認識できるよう、関係職種の役割について理解を深めるとともに、協働を促すための研修会を企画する。(4回/年) (3) ケアプラン相談支援 ・電話・メール・研修会のアンケート(月曜日～土曜日 9:00～17:00)					
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会(連絡会) ・区東北部地域リハビリテーション協議会(1回/年)					
選択する役割		(1) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・心身障害者福祉センター(足立区「あしすと」、葛飾区「ウェルピアかつしか」、荒川区「たんぼぼセンター」)が開催する講演会や事例検討会、連絡会・会議などへの参加および講師派遣を行う。また、地域の当事者および家族が主催する相談会などへ医師や専門職を派遣する。相談支援は電話だけでなく、必要に応じて外来診察や訪問を実施する。					
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	地域リハビリテーション関係者との連携強化	事業実施内容等(選択する役割)	これまでの取組状況(実績等)	小項目合計	総合評価
点数	4.17	4.00	4.17	4.00	3.83	20.17	4.00

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 3か所	無 0か所	有 2か所	無 1か所
現在の連携状況	【連携内容】 ○葛飾区 ・障害者施設課と共催で、地域のケアマネジャー、支援者を対象に、高次脳機能障害者講演会(令和4年7月6日)、事例検討会(令和5年1月25日)を実施した。いずれも講師は高田耕太郎氏(区東北部地域リハビリテーション支援センター長)。その他、区東北部地域リハビリテーション支援センター主催の研修会に参加した。 ○荒川区 ・高次脳機能障がい者の支援について、相互に情報提供を行いながら支援マップを作成した。 ○足立区 ・これまで、個別案件等の対応についての相談や地域リハビリテーション普及のための研修等を協働で実施した。また、今後定期的に連携の取り組みを推進するための検討会を行うことになった。		【連携内容】 ○荒川区医師会 ・関係機関との協議会等への参加や研修会開催通知の周知等を行っている。 また、区内の介護事業所を対象とした症例発表や医師を対象としたリハビリテーションの知識向上のための研修会も積極的に開催している。 ○足立区医師会 ・足立区医師会所属の医療機関職員に対して、研修会や支援を行っています。 また協議会のメンバーに足立区医師会副会長、理事が参加しています。 ○蒲田医師会 ・支援センター主催の講演会への出席 ・定期的に開催される区南部地域リハビリテーション支援センター地域協議会への出席	
指定に対する意見・要望	○葛飾区 ・在宅リハビリテーション支援、専門療法士、福祉専門職、ケアマネジャーに対する知識・技術等に関する研修実施、地域リハビリテーションに関する課題等の情報交換を積極的に進め、リハビリ、生活訓練、介護予防等の現場の力量の向上につながる事業展開を期待する。 ○荒川区 ・地域で解決することが難しい事例や課題について、課題解決に向けてサポートをいただける支援体制があることを要望いたします。		○荒川区医師会 ・荒川区においては、回復期のリハビリ病床は一床も無く、中核的なリハビリテーション病院は二次医療圏や隣接の区に頼っているのが現状であり、東京都地域リハビリテーション支援センターの果たす役割は大きく、本会としても期待をしております。 ○足立区医師会 講演会や研修会を開催したり、高次脳機能障害のブックレット作成など積極的に活動しており、地域リハビリテーション支援センターとして妥当と考えます。	
事業計画に対する意見・要望	○葛飾区 ・区では、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に係る取組のうち、ポピュレーションアプローチとして、高齢者総合支援センター(地域包括支援センター)の保健師等の専門職とともに、区内医療機関等に所属するリハビリ等専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士)の協力のもと、地域の自主グループ活動の場にて「介護予防・健康長寿講座」を実施している。この取組の推進にあたり、リハビリ専門職に対する技術的支、取組の効果測定及び評価手法に係る助言をお願いしたい。(地域包括ケア担当課) ・記憶障害、社会的行動障害などの障害がありながら高次脳機能障害の診断を受けていない方の医療相談や診断、高次脳機能障害者の精神保健福祉手帳取得などについて、ご協力をいただきたい。(障害者施設課) ○荒川区 ・高次脳機能障害者のリハビリテーション従事者の研修、援助は、是非実施していただきたいと思います。この障がいのある方が地域で安心して安全に暮らしていくためには支援者の正しい理解に基づく支援が必要不可欠です。各区の実態にあった形で実施していただきますことを要望いたします。 ○足立区 今後の医療・介護の連携や介護予防・生活支援について、必要に応じて相談させていただきたい。			

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について①（南多摩）

八王子市・町田市・日野市・多摩市・稲城市

1 選定病院

医療法人社団永生会 永生病院

所在地：東京都八王子市梶田町583-15

2 事業計画と選定委員会での評価結果

小項目		事業計画					
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・南多摩圏域における地域課題やリハ専門職の在り方をフォーラムなどを通じて共有できるように活動していく。(1回/年) (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・地域リハ支援センターのホームページ・郵送にて講習会開催の情報提供及びPDFでの公開 ・フォーラム・研修会の活動が掲載された抄録を公開 ・DVDやオンデマンド配信など映像媒体での情報提供(1回/年)					
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・八王子介護支援専門員連絡協議会、八王子市福祉部介護保険課、地域包括支援センターと共にケアマネジャーを対象にWEBにて交流会を企画する。(1回/年) (2) ケアマネジャーへの研修 ・八王子介護支援専門員連絡協議会、八王子市福祉部介護保険課と共にケアマネジャーを対象に講義・グループワークなどを中心とした「医療連携研修会」の開催を企画していく。 ・医療連携研修会に関しては毎年5回ほどの運営会議をし12月を目途に開催していたが今年度は新型コロナウイルスの影響もあるためにWEB会議などを視野に入れて年度内での開催を目指すように活動していく。(1回/年) (3) ケアプラン相談支援 ・八王子市介護保険課の行う利用者検証会議(ケアプラン検討会)にリハ専門職の派遣を予定している。(月1回程度)					
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会(連絡会) ・南多摩医療と介護と地域をつなぐ会(9回/年)					
選択する役割	(1) 脳卒中医療連携推進事業への支援 ・脳卒中医療連携推進事業に関して、平成27年度より医療法人社団永生会が「東京都脳卒中医療連携推進事業」を受諾したため、当該事業へ移行した。事業によっては後援等の支援を継続している。 (2) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援に関して、平成25年より医療法人社団永生会が「南多摩高次脳機能障害支援センター」に指定されたため、本事業は当該支援センターに移行した。事業によっては後援等の支援を継続している。特に対象者の相談業務件数が増加している。						
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	地域リハビリテーション関係者との連携強化	事業実施内容等(選択する役割)	これまでの取組状況(実績等)	小項目合計	総合評価
点数	4.00	3.67	4.33	3.83	4.00	19.83	4.17

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 0か所	無 5か所	有 2か所	無 3か所
現在の連携状況	【連携内容】		【連携内容】 ○多摩市医師会 ・医師会との具体的な連携は無いが会員医療機関の現場(PT等)との連携はあると聞いている。 ○稲城市医師会 ・稲城市医師会では南多摩圏域リハビリテーション支援センターとリハビリ関係の医療支援を実施することで医療効果を高めています。	
指定に対する意見	○日野市 ・日野市リハネット(日野市内リハビリ職の団体)との連携をお願いいたします。 ○稲城市 ・稲城市は当センターから距離が遠く、稲城市は支援いただけていないのが現状です。センターは広域での活動になるためやむを得ない面もあるかと思われませんが、この課題に対する改善を事業計画に盛り込んでいただくことを前提に指定いただくことを要望します。			
事業計画に対する意見	○日野市 ・地域連携を希望します。 ○稲城市 ・センターがある八王子市以外での活動の充実に重点を置く方策、計画を充実いただくよう当市も工夫、協力すべきだと考えています。地域リハビリテーションに関する助言等においては、地域の実情を踏まえていただけることを期待する一方で、当センターには稲城市の地名や社会資源が分からない専門職しかいないだろうと推測されるため、私たちが依頼することを自粛してしまっています。したがってセンター内に稲城市の担当者あるいは窓口を配置いただき、その方に稲城市の地名や社会資源に関する知識を蓄積いただくべく私たちが相談させていただき、以後も依頼しやすくなるを考えました。定期的にその方と情報交換することで他市での事業や取組み等を知り、それをヒントにセンターの支援を受けたいと考えています。			

1 選定病院

独立行政法人国立病院機構 村山医療センター

所在地:東京都武蔵村山市学園2-37-1

2 事業計画と選定委員会での評価結果

小項目		事業計画					
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・リハビリテーション専門職の地域包括システムにおける役割や地域行政との連携に関して、講師を招聘し、取組み事例紹介や圏域各市の行政担当者やリハビリ関連スタッフとの意見交換を開催予定。(1回/年) (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・圏域の医師や歯科医師等に向けて、知識や医療技術情報等を積極的に情報提供する。また、意見交換しリハビリテーションの医療の向上となる知識を共有する。(1回/年)					
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・圏域のその他の市の協議会に積極的に参加 ・連携施設(介護老人保健施設アルカディア)においてリハ職者に向けて研修会実施予定(1回/年) (2) ケアマネジャーへの研修 ・連携施設(国家公務員共済組合連合会立川病院)においてケアマネジャー研修会開催予定 ・当院でケアマネジャー研修会を開催予定(2回/年) (3) ケアプラン相談支援 ・地域リハビリテーション支援センターのホームページより受付(平日9時~17時(電話・メール・FAX))					
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会(連絡会) ・北多摩西部医療圏地域リハビリテーション支援事業幹事会(2回/年)					
選択する役割	(1) 区市町村による在宅リハ支援事業等への支援 ・「地域リハビリテーション活動支援事業専門職派遣委託」契約を武蔵村山市と締結。市内にある住民が集うサロンにリハ専門職が出向き、体操・運動の指導・助言を実施 (2) 脳卒中医療連携推進事業への支援 ・北多摩西部地域医療連携協議会へ出席(年3回) (3) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・高次脳機能障害者支援事業「専門的リハビリテーションの充実事業」委託契約締結 ・国分寺市障害者センター高次脳機能障害関係連絡会への参加						
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	地域リハビリテーション関係者との連携強化	事業実施内容等(選択する役割)	これまでの取組状況(実績等)	小項目合計	総合評価
点数	3.33	3.17	3.33	3.50	3.17	16.50	3.33

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 3か所	無 3か所	有 1か所	無 5か所
現在の連携状況	【連携内容】 ○昭島市 ・圏内の地域リハビリテーション支援事業幹事会に出席 ・センター主催の研修会へ参加 ○国立市 ・研修案内、幹事会の参加 ○武蔵村山市 ・指定予定医療機関は、当市の地域リハビリテーション活動支援事業の委託機関として、地域包括支援センターや住民組織と連携して介護予防の取り組み等を支援しています。 ・また、当市で開催している「地域リハビリネットワーク会議」へ参加し、介護予防や地域リハビリテーションに関する情報を共有し連携を深めています。		【連携内容】 ○立川市医師会 ・北多摩西部医療圏地域リハビリテーション支援センター連絡会に委員として出席	
指定に対する意見	○国分寺市 ・当市から距離が遠いため支援が求めにくい。 ・オンラインなどで相談や技術的支援が受けられると良い。 ・地域リハビリテーションの概念のようなどころから御教授いただきたい。 ○武蔵村山市 ・今後、地域包括ケアシステムの強化に向けて、地域住民の介護予防活動等を支援する際にも、リハビリテーションの専門知識を有する指定予定医療機関との連携は欠かせないものと考えているため、引き続き指定していただきたいと考えております。		○東大和市医師会 ・患者を紹介し手術をしたという返書は届くが、その後のリハビリを含めた経過については報告はない。可能であれば、リハビリについても経過を連絡して欲しい。	
事業計画に対する意見	○昭島市 ・ここ数年間は会議や研修を開催するには苦労があったことと思います。圏域の地域リハビリテーション支援センターには感謝しています。 ・地域には、コロナ禍で思うように活動できなかった高齢者が多くいますので、地域リハビリテーションがますます重要になってくると考えています。引き続きよろしくお願いいたします。 ○国立市 ・事業計画の内容について、効果的にどのように活用できるかがわからなかったのが実情だったため、コーディネート機能も含めたリハビリテーション支援を期待します。		○東大和市医師会 ・外来リハビリのみの患者も受け入れて欲しい	

1 選定病院

武蔵野赤十字病院

所在地：東京都武蔵野市境南1-26-1

2 事業計画と選定委員会での評価結果

小項目		事業計画					
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・当該医療圏・近隣市区内の病院・介護保険施設・事業所、参加約20施設、参加者100名前後で急性期から維持期までの症例検討会を計画。 ・各療法士教育カリキュラムが新しいものとなり、即戦力となれないことが予想されるため、講習会・症例発表会を通して考える機会を提供したい。(1回/年) (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・連携している武蔵野運動器リハビリテーション研究会とともに診療所向け研修会を開催する(知識・最新情報提供) ・かかりつけ医に対する介護保険下におけるリハビリテーションに関する情報提供を行う(2回/年)					
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・症例検討会の実施 ・武蔵野市が開催する地区別ケース検討会へ参加 ・上記取組の継続を各リハ協議会とともに進めていく(1回/年) (2) ケアマネジャーへの研修 ・東京都リハビリテーション協議会研修テキスト検討部作成のテキストを使用しての講習会を実施。圏域内各市で1回ずつ実施を目標 ・各自自治体と連携を取りながら必要と考えられる研修会を開催予定(0~1回/年) (3) ケアプラン相談支援 ・電子メール・FAXで相談受付、地区別ケース検討会への参加 随時					
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会(連絡会) ・武蔵野運動器リハビリテーション研究会 ・三鷹・武蔵野地区リハビリテーション連絡会 ・三鷹武蔵野勉強会(1回/年)					
選択する役割	(1) 区市町村による在宅リハ支援事業等への支援 ・各協議会とともにDIG(disaster imaging game)をリハ職の在籍する介護保険事業所と行い、災害の意識啓発とBCP(business continuity plan)の策定を行う。 (2) 脳卒中医療連携推進事業への支援 ・北多摩南部脳卒中医療連携事業が開催する市民公開講座および医療者向け研修会を支援することで一般市民・ケアマネジャーに各病期の医療・介護におけるリハビリテーションの利用法・意義について啓もうしていく。 ・当院で開催された脳卒中相談窓口業務に協力することで各連携業務に支援していく。 (3) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・北多摩南部高次脳機能障害支援普及事業と共に高次脳機能障害者の支援について考えていく。 ・武蔵野市高次脳機能障害者関係機関連絡会・調布市高次脳機能障害者支援促進事業や三鷹市関係機関連絡会に参加し、意見交換や症例検討会に参加していく。 ・これらの関係連絡機関に各協議会を引き合わせていくようにする。						
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	地域リハビリテーション関係者との連携強化	事業実施内容等(選択する役割)	これまでの取組状況(実績等)	小項目合計	総合評価
点数	3.50	3.33	3.83	3.67	3.50	17.83	3.67

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 2か所	無 4か所	有 1か所	無 5か所
現在の連携状況	【連携内容】 ○武蔵野市 ・事業名「健康長寿のまち 武蔵野推進月間 楽しく！元気に！長生き！」 テーマ いきいきチャレンジ講座～運動と栄養deフレイル予防～ 開催日時・会場 令和4年9月13日 午後3時から4時 武蔵野中央図書館3階視聴覚ホール 内容 フレイル予防のための運動の講話と体操 講師 武蔵野赤十字病院リハビリテーション科技術課長 伊東彰氏 参加者 市民 30名 ○狛江市 ・市が開催する住宅改修研修会への講師派遣、グループワークの企画・調整 ・任意団体である狛江市リハビリ連絡協議会の運営支援		【連携内容】 ○狛江市医師会 ・当地区の支援センターである、武蔵野赤十字病院が主催する、北多摩南部脳卒中医療連携検討会には定期的に参加し、情報共有を心がけています。	
指定に対する意見	○狛江市 ・センターの専門職の方が、地域に入って伴走していただけたところが、本事業のよさだと思います。現在、住宅改修研修会を中心に御支援いただいておりますが、地域リハビリテーションを推進する上で御相談させていただきたい内容も多く、今後は連携事業を拡大していければよいと考えます。		○狛江市医師会 ・地域のまとめ役として大変しっかりと運営してくださっており、心強く思っています。	
事業計画に対する意見	○武蔵野市 ・地域包括ケアシステムの推進のためにリハビリテーション専門職種の活用を図りたいが、自治体と地域リハビリテーション支援センターとの意見交換が十分に行われていない印象がある。まず、各自自治体の地域リハビリテーション協議会の構成員を、リハビリテーション専門職種だけではなく地域関係機関に広げる。そして地域のニーズや課題を把握するための具体的な実施計画も取り入れていただきたい。 ○狛江市 ・狛江市リハビリ連絡協議会については立ち上がりから年数も浅く、引き続き支援をお願いしたいと思います。 ・先日医療と介護の連携推進事業において、専門職を対象に「災害」をテーマとした研修会を開催しましたが、BCP作成、災害時リハビリテーション等はかなり関心が高く、是非推進していただきたいです。 ○調布市 ・ここ2年程、調布市は全く地域リハビリテーション支援センターとの連携はない。コロナ禍ということも在り、病院自体が大変だったのか研修案内も来ないが、同じ二次医療圏の他市が、どのように地域リハビリテーション支援センターと連携し活用しているのか、連携内容と実績を教えてください。		○狛江市医師会 ・ソーシャルワーカー、ケアマネ等の福祉関係、行政関係も含めた多職種連携の拡充、市民講座(糖尿病フェスタのような)の実施による啓発活動、災害時、感染症等に関する独自の取り組みや情報発信に期待します。	

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について①（区南部）

小平市・東村山市・西東京市・清瀬市・東久留米市

1 選定病院

地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩北部医療センター
 所在地：東京都東村山市青葉町1-7-1

2 事業計画と選定委員会での評価結果

小項目		事業計画					
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・研修会の内容については幹事会において検討予定(5回/年) (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・医師向けの症例発表会を開催予定(5回/年)					
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・セラピストのほかに、ケアマネジャーに向けた公開講座の開催を企画(内容は幹事会にて検討予定)(4回/年) (2) ケアマネジャーへの研修 ・同上(4回/年) (3) ケアプラン相談支援 ・補装具や摂食嚥下、痙縮治療を専門外来として実施(補装具：毎週月曜午後、摂食嚥下：毎週火曜午後、痙縮治療：毎週木曜午後)					
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会(連絡会) ・幹事会(2回/年)					
選択する役割		(1) 脳卒中医療連携推進事業への支援 ・北多摩北部医療圏脳卒中ネットワーク委員会の会合に、当院のリハビリテーション科職員が出席している。 (2) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・高次脳機能障害の専門外来を実施 ・北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会に運営委員として参加					
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野へ	地域リハビリテーション関係者との連携	事業実施内容等(選択する役割)	これまでの取組状況(実績等)	小項目合計	総合評価
点数	3.50	3.50	3.67	3.67	3.17	17.50	3.67

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 3か所	無 2か所	有 3か所	無 2か所
現在の連携状況	【連携内容】 ○小平市 ・事業幹事会(年3回)への出席 ○西東京市 ・年2回開催している幹事会に参加し、地域リハビリテーションに関する情報交換等を実施している。 ○東久留米市 ・地域リハビリテーション支援センター主催の連携会議や研修に参加		【連携内容】 ○東村山市医師会 ・会員医療機関からのリハビリテーションに関する相談に応じ、地域医療連携室等が窓口となり、受診等の連携調整を行っていただいている。 ○清瀬市医師会 ・会員医療機関からのリハビリテーションに関する相談に応じ、地域医療連携推進室が窓口となり、受診等の連携調整を行っていただいている。 ○東久留米市医師会 ・幹事1名を派遣 ・研修会への会員参加 ・作成した高次脳機能障害のパンフレットを会員へ配布	
指定に対する意見	○東久留米市 ・地域リハビリテーション支援センターは、相談機関として重要な機関であり、今後、市町村との連携が増々必要となると考える。		○東村山市医師会 ・今後も継続を希望します。 ○西東京市医師会 急性期、回復期、維持期を通して、病病・病診の要となっていたきたいです。 ○清瀬市医師会 ・今後も継続を希望する ○東久留米市医師会 多摩北部医療センターはコロナ禍にも関わらず継続していただいております。是非指定継続をお願いします。	
事業計画に対する意見			○東村山市医師会 ・今後も地域の医師をはじめとする医療従事者等にリハビリテーション医療に係わる知識・技術情報提供等をご教授いただきたい。 ○清瀬市医師会 今後も地域の医師をはじめとする医療従事者等にリハビリテーション医療に係わる知識・技術情報提供等をご教授いただきたい。 ○東久留米市医師会 コロナ禍の為集合研修が出来ず大変でしたが、WEBの研修会を開催していただいておりますので今後も集合研修と合わせて開催していただきたいと思います。来年度はSNSを使った情報共有システムを立ち上げたいと思います。	